

# 原田ひづよ議員

## 障がいに対する理解の促進について

今後の「夢ウエル丸」事業のあり方について

議員 夢ウエル丸型介護から相互扶助型介護の転換期として、夢ウエル丸事業の今後のあり方について、現時点での市長の考えをたずねる。

市長 通所介護事業所が整備されていない飛島、六島の方策を十分に検討し、島しょ部の住民と協力を得ながら、夢ウエル丸事業にかかる介護福祉サービス事業の推進が必要と考えている。

市長 通所介護事業所が整備されていない飛島、六島の方策を十分に検討し、島しょ部の住民と協力を得ながら、夢ウエル丸事業にかかる介護福祉サービス事業の推進が必要と考えている。



夢ウエル丸

健康福祉部長 ①心身の障がいのある人々の相談に応じ、障がい者や家族が有しているさまざまな経験や情

報を生かし、身近な地域で、当事者や家族の目線に立つ必要な相談、対応、援助を行い、行政とのパイプ役果たすとともに、地域活動の中核となつて障がい者福祉についての啓発等の活動を推進するものと考えている。

議員 市職員の障がいに対する理解の研修について、市長の考えをたずねる。

市長 専門的な研修に加え、人権研修の中でも取り入れたり、今後も障がい児・者の正しい理解のために職員研修に取り組んでいきたい。

議員 ①身体障がい者相談員・知的障がい者相談員について

議員 ①この相談員は、専門の資格を持つた相談員ではなく、当事者、家族に委託している相談員であるが、相談員の役割、あり方にについての考えをたずねる。

議員 ②身体障がい者の相談員は昨年まで6名であったが、本年度は3名に減っている。減員の理由をたずねる。

市長 ①笠岡市の将来の産業の姿を描き、それに向かっての方策を具体的に明記したものとしたいと考えて

を対象とする予定である。  
②ビジョンを検討する策定委員会の中で総合計画との整合性を図りながら、具体的な、計画的な戦略となるよう検討していきたい。

議員 市職員の障がいに対する理解の研修について、市長の考えをたずねる。

学校教育の現状の課題

②高齢を理由に活動できないこと、仕事との両立が困難であること等により委託更新に至らず、3名の減員となつたものである。

議員 ①不登校児童等に対する本市の取り組みについてたずねる。

三谷渡議員  
企業誘致と雇用の創出について

議員 ①産業振興ビジョンの考え方をたずねる。

②産業振興の中・長期目標の策定をどのように考えて

クールカウンセラー等と連携し、保護者からの相談に応じる体制づくりに取り組んでいる。

笠岡湾干拓地の有効活用と課題について

議員 ①メガソーラーの誘

致活動についてたずねる。  
②臭気の問題についてはどうに考えているのか。

市長 ①今のところ予定はないが、利用可能な土地への設置希望があれば対応していきたい。

神島の保育所の移転、建て替えについて

議員 建て替えについての市長の考えをたずねる。

市長 市民が安心して子どもを預けることができる施設を第一に、事業を進めべきと考えている。



神島保育所